

一人は万人のために 万人は一人のために

たから

宝塚医療生協
平和こそたから・健康こそたから・組合員の声がたから

No. 202
2012.03.01
組合員数 11,148人
出資金 208,970千円
組合員1人平均 18,745円
(2012年1月31日現在)

発行 宝塚医療生活協同組合
宝塚市鹿塩1丁目18-6
☎ 0798-57-3137 FAX 0798-57-5667

URL <http://www.takarazuka-mcoop.net/>
E-mail iseikyo@takarazuka-mcoop.net

虹のパレンタイン行動 2012



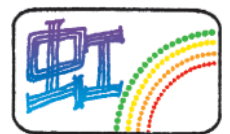
伊丹・イズミヤ昆陽店前にて



宝塚駅前にて

原発“模擬”投票 「脱原発に賛成・反対？」

被災地支援募金 もちろんチョコも



★東日本を襲った大震災から早や1年。いまだに行方不明者が3千人を超え、放射能汚染が続く福島原発の「廃炉」への

道筋も示されない。「政治を変える」と大見得を切りスタートした政権は、国難に対応出来ず、ことある度に、総理や閣僚のすげ替えに追われるばかり。★しかも、この政権は、いま、社会保障の充実、一体改革の美名のもとに、「消費税」の大幅アップを策謀。また、日本の農業、医療などに大打撃を与えるTPP（環太平洋連携協定）への参加表明。沖縄の米軍基地問題では、県内での新基地建設を目指すなど、旧政権顔負けの施策を押し進める。眼を見開き、暴挙を阻止しよう。★50年余、宝塚医療生協を支えてくださった今井鐵医師が逝去された。「3世代お世話になった」という組合員の多いこと…。走り続けてこられた先生に感謝すると共に、ご冥福を祈りたい。4月から、西宮在住の熊野静香医師が赴任される。内科、循環器系のベテラン。「地域に根ざした医療を…」と話しておられる。拍手でお迎えしよう。

(U)

エコキャップ運動

ペットボトルのキャップで、世界の子どもにワクチンを届けます

●届けたキャップ
504,136 個

●CO₂削減効果
3,970 kg

●ワクチン
630.2 人分

2012年1月24日現在

【お願い】 キャップは、きれいに洗い、シールをはがして、本部か良元、高松両診療所にお届け下さい。



5代目所長・口分田勝先生と6代目所長・今井鐵先生を囲んで（前列中央のお二人）（1959年）



理事会後の懇親会（中央は今井先生と奥さん、左は渡名喜さん）にて（1963年）



記念レセプションで奥様とともに（1989年）

今井先生、ありがとうございますございました

高松診療所の設立から60年が経過した2011年12月18日、所長、名誉所長としてその歴史の大半を先頭に立って歩まれた、今井鐵先生が永眠されました。地域の人々、医療生協の組合員や職員から絶大な信頼を集め、慕われてきた今井先生の足跡とお人柄を、5名の証言からたどりましょう。

追悼 今井鐵先生

副理事長 脇野 耕一

昨年12月18日、今井鐵先生は、患者からも職員からも敬愛され慕われ医師の鑑としての人生を全うされました。

12月19日、今井家と宝塚医療生協の合同葬が、クレリ宝塚で執り行なわれました。参列した150名みんなが泣きました。そして、先生のご遺志を継ぎ、たとえどのようなことがあることも、高松診療所を守り発展させていく決意を、宝塚医療生協役職員で固めました。

奇しくも翌12月20日、良元診療所に熊野静香先生を副所長として新年度（4月）から招聘する道が開けられました。現在、着々と準備が進められています。熊野副所長により、良元診療所に新しい魅力が加わり、これまでのご不便をいくらかでも減らすことができようになります。

2012年、宝塚医療生協は、創立40周年を迎えました。その歴史を学び発展させていく年となります。創立までの前史（それ以前の歴史）がありま

す。1951年、高松診療所開設以来の歴史です。今年で61年になります。そのうちの54年は、今井先生に関わる歴史でもありました。今井先生は、私たちが生きているかぎり、私たちの心の中で、生きておられます。

私たちと共同して地域の医療を担う有限会社ヘルシーメイト・たんぼ薬局の薬剤師不足の問題が急浮上しています。常勤・非常勤を問わず薬剤師を広く募集しています。

私たちの努力と成果を、いつか今井先生にご報告しましょう。

目に焼きついている 今井先生

高松診療所 元師長 玉城 郁

右も左もわからず、看護師の卵の頃から高松診療所に勤務をし、今井先生のひたすら地域の患者様のために身を捧げる姿は、私の目にしっかりと焼きついています。

亡くなられた今、色々な事が走馬灯のように日々思い出される毎日です。尊敬できる先生のもので、働けたことは、私の大きな財産となり、今日まで頑張れているのだと思います。

偉大なる今井先生。皆様の心の中でずっとずっと生き続けていくことでしょう。



高松診療所スタッフに囲まれて（2011年）



高松診療所OB会でのひととき（2005年）



高松診療所竣工式にて（1983年）

今井鐵先生を 偲んで

常務理事 岡本 芳章

1959年以来、高松診療所所長、名誉所長として高松診療所のみならず、宝塚医療生協全体を支えていただいた今井先生のご逝去は、85年以来、事務長として先生と共に仕事をさせていただいた私にとりまして、ショックを隠しきれないものでした。

在職中は時には厳しく、時には優しく接していただきお礼の言い様がありません。

高松診療所の50周年の年史作成の折も、すでに他界されている妻鹿元専務と今井先生のお話を取材させていただき、昔、武庫川の川の中を長靴を履いて渡って往診に行っておられたことなどお聞きし、患者さんに対する熱い情熱は我々も学んでいかねばと思えました。

先生のご冥福をお祈り致します。

母親からひ孫まで、 5代にわたって

高松町 真栄里 照子

きっかけは当時大阪で寝たきりにな

っていた私の母親が、今井先生に診てもらおうようになってから歩けるようになるまで回復した。親戚からも「もうだめか」と思われていた母親が歩く姿を見て、周りはとても驚いていました。

先生には身体のこと以外でも家庭や仕事の相談にも乗ってもらい、心身に支えてもらったように思います。「私が行くまで元気です」と言いつつ、優しく笑う今井先生。その顔を思い出すと今も胸がいたみます。本当にありがとうございました。

息子を泊りこみで 診てもらい……

泉町 尾崎 金子

今井先生には50年近くお世話になりました。

私の子どもが生後1ヶ月の時に、風邪をひどくこじらせてしまい、先生に往診をお願いしました。すると家に酸素を持ってくる手配をして、「2時間ごとにおうちまで様子を見にきます。それと今晩は診療所に泊まりでいますから何かあったらすぐに連絡して下さいね」と言ってお下り、そのおかげで子どもは翌日にはすっかり良くなりました。先生には家族全員がお世話になり、本当に助かりました。

今井先生のあゆみ

- 1929年（昭和4年）12月生まれ
- 1957年（昭和32年）3月 兵庫県立神戸医科大学（現神戸大学）卒業
- 1959年（昭和34年） 高松診療所6代目所長に就任
- 1982年（昭和57年） 宝塚市班状歯認定委員に就任
- 1983年（昭和58年） 宝塚医療生協副理事長就任
- 1984年（昭和59年） 良元診療所での診察開始
- 1989年（平成元年）5月 宝塚医療生協統一10周年、今井先生就任30周年記念レセプション
- 1995年（平成7年）3月 高松診療所名誉所長（所長退任）
- 2001年（平成13年）12月 高松診療所50周年記念のつどい
- 2011年（平成23年）12月18日 宝塚市立病院にて逝去

高松診療所のあゆみ

- 1951年（昭和26年）11月 高松診療所開設
- 1972年（昭和47年）12月 宝塚医療生活協同組合設立
- 1979年（昭和54年）7月 高松診療所、宝塚医療生協へ合流
- 1983年（昭和58年）6月 高松診療所建て替え竣工
- 1999年（平成11年）1月 院外処方箋発行始める
- 2000年（平成12年）4月 ケアサポート併設
マンモグラフィ導入
- 2008年（平成20年） 電子カルテ導入
- 2011年（平成23年）11月 高松診療所60周年

新春学習会

広原盛明先生講演

21世紀のまちづくりはソフト中心に…

高齢者にやさしいまちづくりの取り組みに期待

1月28日、良元診療所で新春学習会が行なわれ、京都府立大学元学長・広原盛明先生をお招きし「少子化・高齢化時代のまちづくりと医療生協の役割」と題した講演を行なっていただきました。

あれほど…とユーモアたっぷりにごメントされました。

21世紀の「まちづくり」は、ソフト面中心に変化が求められています。

「高齢者にやさしいまちづくり」チェック運動は、これからのまちづくりにとって重要な課題です。昨年から配布したアンケートも600枚以上を集約しました。高齢者にやさしいまちづくりプロジェクトで中間集約を行ない、兵庫民医連学術運動交流集会にも演題発表しました。

宝塚市の特徴点として、
 ■高齢者が孤独感を深めている。
 →話し相手が必要
 ■地域とのつながりが疎遠
 →安全な道路、交通網の整備が必要
 ■自宅で安心して暮らせる見守り・コミュニティが不足
 →「きずな」「たまり場」が必要ななどの問題点が浮き彫りになっています。

2012年度は、本格的な「高齢者にやさしいまちづくり」の取り組みが求められています。
 (高齢者にやさしいまちづくりプロジェクト
 エクト 事務局 岡本 芳章)



街の持つ人と人のふれあいのすばらしさが大型店の進出によって失われていくことが残念であり、「新鮮な魚屋と小粋な女将のいる飲み屋が

4月から 熊野静香医師 良元診療所副所長に着任

Message

はじめまして！ 4月より着任させていただく内科の熊野です。

今回こうして、地域重視の診療に携わる機会をいただいたご縁に感謝しています。私のこれまでの経験から、どの疾患も各環境や生活でそれぞれに異なる個性を持つもの、と感じてきました。そういった視点から多面的なアプローチをしていきたいと思っています。

「お1人お1人のQOL(Quality Of Life)を尊重した診療」私なりの一貫したこのテーマに沿って、健康で充実した暮らしづくりのご提案をさせていただければ幸いです。

ご一緒にbetter lifeを創っていくため、どうかどのような事でもお気軽にご相談下さいませ。

外来にてお待ち申し上げております。



くまの しずか
熊野 静香 医師

出身大学：兵庫医科大学

診療内容：糖尿病・高血圧・高脂血症を軸とした各種生活習慣病
 心臓疾患 呼吸器疾患
 腎臓疾患 アレルギー疾患
 漢方治療をミックスした女性特有の疾患
 その他内科疾患一般



阪急逆瀬川駅

虹のパレンター 2012 行動

東日本大震災支援
メモリアル行動
脱原発“模擬”投票も



伊丹イズミヤ昆陽店前

併せて参加を呼び掛けています。

また、「あれから一年」神戸集会も

丹で各1か所です署名・宣伝行動を行な

います。3月11日で東日本大震災発生から1

年を迎えます。3・11メモリアル行動

として、宝塚市内で3か所、西宮・伊

丹で各1か所です署名・宣伝行動を行な

います。3月11日で東日本大震災発生から1

年を迎えます。3・11メモリアル行動

として、宝塚市内で3か所、西宮・伊

丹で各1か所です署名・宣伝行動を行な

います。3月11日で東日本大震災発生から1

年を迎えます。3・11メモリアル行動

として、宝塚市内で3か所、西宮・伊

丹で各1か所です署名・宣伝行動を行な

います。3月11日で東日本大震災発生から1

行なわれました。

今年、チヨコレート配布・宝塚医

療生協PRと同時に、東日本大震災支

援メモリアル行動(毎月11日に行動)、

「脱原発賛成・反対」の模擬投票を呼

びかけました。投票結果では脱原発に

賛成の方が圧倒的に多く、原発依存か

らの脱却を断念し、エネルギー政策の

転換することが世論だと感じました。

「虹のパレンター」が2012年6ヶ所(阪急宝塚駅噴水前・阪急逆瀬川駅・阪急仁川駅・伊丹イズミヤ前・阪急西宮北口アクタ回廊・JR三田駅前)で

会場	日程	参加者	原発ゼロ署名数	脱原発に賛成/反対
阪急宝塚駅噴水前	2月11日(土・祝)	18名	38筆	56/3
阪急逆瀬川駅	2月11日(土・祝)	11名	44筆	24/0
阪急仁川駅	2月11日(土・祝)	16名	8筆	40/2
伊丹イズミヤ前	2月11日(土・祝)	13名	30筆	37/3
西宮北口アクタ回廊	2月12日(日)	8名	11筆	173/19
JR三田駅前	2月13日(月)	5名	2筆	参加者少なく配布に専念
合計	—	71名	133筆	330/27

3・11メモリアル行動

宝塚市内 (11:00~12:00) 阪急仁川駅・逆瀬川駅・宝塚駅噴水前
西宮市 (15:30~16:30) 阪神今津駅前
伊丹市 (11:00~12:00) イズミヤ昆陽店前

「あれから1年」集会

3月11日(日) 14時~
神戸東遊園地

三田市・西宮市

2011年度 自治体キャラバン

社会保障の充実を求めて懇談

昨年11月末に行なわれた宝塚市との自治体キャラバンに続いて、三田市・西宮市とも多数の職員・組合員の参加があり、懇談を行なってきました。



	三田市	西宮市
	2011年12月21日(水) 市職員 11人 医療生協 7人	2012年1月11日(水) 市職員 20人 医療生協 11人(内尼崎医療生協3人)
災害・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップを作成し、全戸配布した 関西学院大学政策学部と協同で、災害対策を見直しており、完成後は「新しいハザードマップ」を配布する予定 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップは、未作成 震災時はJR線よりも以北への避難を呼びかけている 震災対策で追加・変更があればホームページや市の広報紙に掲載する
国民健康保険等	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険制度の理念を「相互扶助（みんなで助け合える）」としてとらえた説明に終始、「社会保障」の観点が欠如している 一部負担金について、外来は小学6年生まで、入院は中学3年生まで助成（所得制限なし）など充実している 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険の理念を「相互扶助」としての考え方で説明 「後期高齢者医療制度の廃止を国に求めてほしい」との要望に、「制度として定着しつつある」「新制度への変更があれば速やかな対応を検討する」と説明
健診・がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診は、市独自で検査項目（尿酸・クレアチニン）を追加 （要望が多い）心電図検査は未実施 がん検診無料化は、検討していないとの説明（がん検診受診率が伸びていない） 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診は、市独自の検査項目はなし 心電図を含む検査項目の追加を要望したが、項目を追加する予定はない 「受診券の周知が弱いため、受診率も低いのではないか」との問いに「特定健診受診時に受診券が必要であることを周知徹底していく」との説明があった

	三田市	西宮市
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> 他市と比べて先進的な取り組み（震災対策や子育て支援対策等）が見られた 介護保険のパブリックコメントなど、市民の声が反映されやすい自治体だと感じた 国民健康保険を「相互扶助」との考え方を改めてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の課長が参加され、説明はていねいだった。 改善点（短期保険証発行件数等）が見られ、継続して運動・懇談していく必要を感じた 「国の動向注視」・「国の政策遵守」的思考が強く、自治体としての独自性に乏しい感じがした

ここに掲載している項目は一部であり、社会保障全般にわたって懇談を行ないました。少しでも社会保障が充実し、住みやすい地域になっていくように、これからも懇談・運動を続けていきます。
（健康まちづくり委員会 中田幹二）

私も組合員



あるがままに生きたい

仁川支部 ^{たかわし}高鷲 ^{あきこ}昭子さん(71歳)

加入：1995年4月

高校で保健体育の教師を三十年以上されてきた高鷲さん。当時、「男社会」と言われていた教員社会で頑張ってきた高鷲さんは、今もいろいろな団体に頼りにされています。

■組合員になったきっかけは

大成町に良元診療所が移転する際（一九七六年）の組合員増やしの時です。昔、尼崎に住んでいた時に、ナニワ診療所でお世話になっていたのと同じ医療生協ということもあり、組合員になりました。亡くなった夫（良治さん）が昔、理事をしていて、私は総代になったり、虹のかかりをしたりしてお世話になっています。

■学校の先生をされていたんですね。

三十五年間、保健体育の教師をしていました。当時は、特に男性が多い職場で、女性のしかも科目が保健体育の教師というのはかなり珍しく、いろいろ差別的なこともありました。しかし、性格が言いたいことをはっきりと言つタイプだったので、「筋が通っていない」「子どものことを第一に考えていない」ようなことがあれば、労働組合員として発言をしていました。その他にも、女性職員を増やすよう運動をしたり、労働条件での話しをしたり…組合の経験は今もさまざまな場面で生きてくるように思えます。

■家庭訪問の時に突然…

五十五歳の時に、ウイリス動脈輪閉塞症という病気が分かりました。その時は家庭訪問の帰りだったので、急に激しい頭痛と目まいがして、一緒にいた方に家まで送ってもらった後に協野先生が往診に来て下さいました。それから入院をして手術となったのですが、途中から十日間くらいの記憶が途切れ途切れにしかなくて…家族は突然のことだったので、いろいろとバタバタしたのですが、私はその時の話をされても「そうだったかな？」といった感じで（笑）不思議な気分でした。

■今はもう後遺症もなく

それからは定期的に通院しているくらいで特に病気はしていません。しかし、記憶はあまりないにしても、大きな病気をしたので長生きをするよりも「あるがままに生きたい」と思っています。毎日している家事や孫の世話、いろいろ外でしている活動など一つひとつを楽しんで生活をしていきたいと思っています。

（インタビュー 前田秀輔）

班活動
紹介

東支部

地域包括センター
認知症予防講座



後出しジャンケンゲームの様子

毎週水曜日、社協「長尾地区センター」でサロン「すいらく」（水曜日を楽しく）で午後1時から約1時間、地域包括センターから講師に来ていただいて勉強しています。テキストを提供していただき一緒に考えます。柔軟な思考回路が求められます。笑いが絶えません。介護保険講座では、施設見学、制度の利用などを教えていただき、困れば相談する。身近に相談できる場所があることはこの上なく有難いことです。参加費無料、誰でも自由に参加できます。毎回10数名が楽しみに参加しています。

（東支部 相馬新一）

組合員活動

高松支部

「新春のつどい」に44人

～高松会館で
沖縄舞踊を楽しむ～

急に冷えこんだ1月27日の夜、高松支部恒例の「新春のつどい」が開催されました。

茅野理事長も出席し、あいさつの中で、ひだまり会館の老朽化・移転に触れ、高松診療所も含めた将来構想を検討していることも話され、話題になりました。

その後、御所の前自治会長川端さんによる乾杯の音頭で、参加者の交流がはじまり、日頃お世話になっている安



倉の花尻さん、地元の渡名喜市会議員、ねりき県会議員、高松診療所、ひだまり会館の各職員他にも、参加者からもテーブルスピーチをいただき、賑やかな親睦交流となりました。

支部長から昨年をふり返り、台風で納涼のつどいが中止になりましたが、「日帰りバスツアー」を含め、年間行事を予定通り行ない、日頃の組合員のみなさんのご支援に感謝を述べ、「生協強化月間」では、「担い手ふやし」部門で目標を達成したことが報告されました。

今年、「志摩の会」のみなさんにご出演いただき、たっぷりと「沖縄舞

踊」を楽しみ、見るだけでなく参加者も踊りに参加して、最高に盛りあがりました。

初めて参加された運転手ボランティアさんから「テレビでは見ていたが、沖縄舞踊をじかに見て感動しました。」との声をいただきました。

(高松支部 宇都宮勝)

北支部

新入組合員歓迎

新春のつどい

2012年1月29日(日)

売布会館にて

年々参加者が増え、北支部は今年も元気いっぱいです。新入組合員の方々には、年賀状で案内し、電話でお誘いしました。嬉しいことに当日、会場での入会申込みもあり、超満員の63名が集いました。

茅野理事長から、昨年実施した「高齢者にやさしいまちづくりアンケート」の集計結果を市政や地域に反映させようとする抱負が語られ、北支部の「助け合い活動」が他支部にも広がりつつあると激励されました。

その後、新入組合員さん、「たから」を配っている虹の係のみなさん



地域ごとに紹介し、スライドを使って「北支部の班活動」と「医療生協って何？」の勉強の時間となりました。今年、趣向をこらした組合員の作品展コーナーの絵画・陶芸・写真・ぬいこ・古布を使った人形と着物が好評でした。

盛り上がった会場に響いたのは、合唱班「ゲラツカラ・ムジーク」によるコーラス、ギター班「カノン・アンサンブル・グループ」の熱唱と演奏にアッコールが出る盛況ぶりでした。

「あゆみ班」の手づくり料理に参加者のみなさんも大満足。多彩な班活動の成果と北支部の元気あふれる新春のつどいの一日となりました。

(北支部 濱田正子)

訪問看護ステーション ひだまり

- ・人と人とのふれあい
- ・自宅で安心してすごせる為の支援
- ・看護の原点が在宅にはあります



あなたと一緒に
訪問看護をして
みませんか？

☎0797-77-3115

デイサービス あったかハウス今津

♪ 隣の下の力持ちも紹介します♪



西宮支部のみなさん♪
細やかな気遣いであつたかを
支えてくれています。
ありがとうございます！

☎0798-34-6221

ケアサポート

春 新たな出発の時です！

主役は利用者さま
です



新職員ご挨拶



亀崎千恵美さん

心も体も一回り大きくな
って帰って来ました。
どうぞよろしくお願ひし
ます。

介護の相談は
ケアサポートへ

☎0797-76-4536

通所リハビリ

新しいスタッフも増えより一層
充実したリハビリが行えるよう
になりました

お問い合わせは、
ケアマネージャーもし
くは、良元診療所通所
リハビリ西川まで



☎0797-71-8540

デイサービス ひだまり

「北海道へ帰ります」
楽しく賑やかなベテラ
ン介護士の岡村妙子さ
んが2月末で退職。



エコなちぎり絵 新聞紙を活用

松島美貴さん、明
るくて若い介護士
が引き継いで頑張
っています。よろ
しくお願ひしま
す。

☎0797-76-4770

ヘルパーステーション さがん

明るくほのぼのとした
ヘルパーステーションです

パート
・登録
ヘルパー
募集中



清荒神の市場の中に
あります
遊びに来て下さい♡

☎0797-84-3965

良元診療所・訪問リハビリ

3月も15歳以上の組合員は、
受診券なし1000円で
たから健診OKです



4月からは宝塚市が
ん検診(対象年齢あ
り)が始まります!!
詳しくは窓口まで。

☎0797-71-7288

高松診療所

お知らせ

以下の時間は院内薬局となります。
なにかとご不便をおかけするかと存じますが、
何卒御了承くださいませ。



〈院内薬局開局曜日・時間〉

- 水曜日 14:30~16:30
- 木曜日 17:00~19:00
- 金曜日 17:00~18:00
- 土曜日 9:00~12:00

☎0797-72-2585

ヘルパーステーション ひだまり

楽しい仲間がいっぱい!



親睦会や企画で楽しく、
働きやすい職場作りをめざしています。
バーベキュー・お好み焼きパーティー・お鍋大会etc...
今年も*元気、と*笑顔、を利用者さんに届けます

☎0797-77-3245

読者の ひろば

▼いつも「たから」楽しく読ませていただいております。各支部の組合員の皆様の活動に感謝しております。今年もよろしくお願ひもうしあげます。**(亀井町 出口千恵子)**

▼年末に、組合員さんの娘さんが結婚して住む神奈川県藤沢市で「いつでも元気」を購入したいと言っている、との問い合わせがありました。早速、神奈川県民医連のHPで申し込みをしたところ、1週間後には組織部と藤沢支部支部長さんなど3名で訪問して下さい、組合加入と「元気」の購読をしていただいたと、お礼のメールが届きました。全国の間と繋がっている事を実感しました。**(西宮市 伊田こずゑ)**

▼野田内閣によって進められようとしているTPPへの参加は、医療面では、外国医師

の参入やら、世界的に優れた日本の皆保険制度の崩壊などわれわれ老人が高額医療費を払えなくなつて医者にかかれないうちが出てくる事態が起つてくるので反対。年金生活者にはつらい世の中になりつつある。高齢者にやさしいまちを作つていただきたい。なおかつ全ての人が安心して暮らせるまちになることを願っています。**(中山五月台 松井秋子)**

▼たからがカラーになり、時代を感じます。診療所内の展示をいつも楽しみにしています。待合中も心が、うきうきして元気になり帰宅でき、あらがとつ。**(美幸町 久川光子)**

▼カラーで見られる岡沢さんの龍入ゴイ！あつたかハウス今津の工コ獅子舞、面白いー！祖母の代からお世話になった、今井鐵先生の訃報を知り、心からお悔やみ申し上げます。高松町に来て36年。山並み以外は、ほぼ変わったけれど、17年前の震災ショックから立ち直れないまま、リュウマチに。加齢って残酷…。時々、安楽死が欲しくなるのは震災障害それとも美意識が高いせい？**(ユミネッサンス)**

▼毎回楽しみにしています。仕事に追われて時間がなく、リタイヤ(あと1年後)したら健診に伺いたいと思つています。**(西宮市 高橋美千代)**

▼組合員の紹介と薬食同源など、おもしろく読んでおります。**(仁川北 前川悦子)**

▼健康でありお世話にならない様心がけておりますが、インフルエンザと市の健診はうかがっています。やさしい思いやりのある職員さんばかりで私の身体をお任せできると安心していきます。これからもお世話になります。**(匿名希望)**

▼2011号になって一層明るくあたたかい感じになりましたね。医療生協は4年前にコープの前で声をかけていただいたのをきっかけで組合員になりました。今では班活動を2つ、安価な費用で楽しませてもらえて感謝しています。**(平井 加藤弘子)**

▼TPPや消費税増税に年金引き下げ、医療費負担増額、どれもこれも不安要素ばかりです。明るい話題を持ちたいものです！**(匿名希望)**

▼昨年より「たから」の配布

2011年度 第10回理事会報告

◇日時：2012年2月25日(土) 14:00~18:10
◇場所：事務局会議室
◇出席：理事24名、監事1名、オブザーバー6名 計31名
議長 池田常務理事

◇審議事項
・[11年度活動のまとめと12年度活動方針案]たから別刷りとして発行
・3・11メモリアル行動、集会等の取り組み
・3・3近畿総決起集会/3・31兵庫民医連社保決起集会の取り組み
・年度末課題の取り組み(年度末月間・世界保健デー準備他)
・第44回通常総代会準備(総代会事務局設置、総定数数の考え方など)
・年度末一時金・春闘要求の取り扱いについて

◇報告事項
・虹のパレンタイン行動2012の報告
(6か所71名参加、原発ゼロ署名133筆他)

法律相談

日時：4月2日(月) 14:00~16:00
場所：宝塚医療生協事務局会議室(宝塚市鹿塩1丁目18-6)
*相談希望の場合は事前予約が必要*宝塚医療生協組合員は、無料予約及び問い合わせ：宝塚医療生協事務局(電話0798-57-3137)迄

係をしています。みんながしっかりと目を通してくれるとうれしいなあ。**(匿名希望)**

▼今年も昨年に続いて高齢者にやさしい絆を大切に手と手をつなぎ、楽しい年にしたいと思ひます、プラス思考で。たからの広報委員さま。お身体を大事になさつて、素晴らしい企画をされます事を祈り申し上げます。**(平井山荘 富永岩子)**

▼いつも生協の新聞、楽しく拝見致しております。パズルも頭の体操になっています。**(伊丹市 藤本久美子)**

▼年末に今井先生の訃報を聞き、悲しくなりました。今井先生には高松町に住んでいた時から15年程、ぜん息でお世話になりました。そして2年前、特定健診で診ていただきましたが、「ぜん息はどうですか？」と声をかけられました。15年ぶりに：又、たくさんの患者さんの中で、覚えて下さつていたのです。ご冥福をお祈りします。**(亀井町 草野恵)**

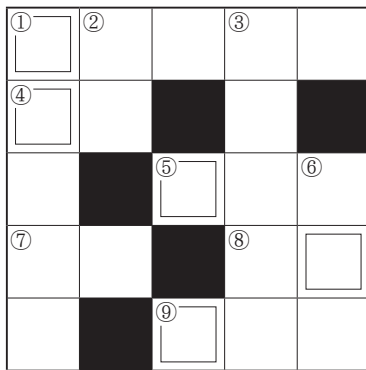
▼このパズルを通して、お婆ちゃんとの会話が弾みました。**(売布 和田祐香)**

医療生協 パズル

〈ヒント〉

ユリ科の多年草

(春に紫・青・白・黄・紅色の花が咲きます)



〈たてのかぎ〉

- ①写真に写される物体
- ②春〇秋冬〇
- ③食事のあとに使います
- ④オカメ。セキセイといえは

〈よみかぎ〉

- ①3月3日
- ④量より〇〇
- ⑤3月の古くよび名
- ⑦祝いに出される魚
- ⑧幸〇〇。〇〇を試す
- ⑨サケ・マスの卵の塩漬け

応募規定

回の中のことばを組み合わせて、5文字のことばを作り、同時にご意見等を必ずひとこと添えて、ハガキ、FAX、メールでお答え下さい。

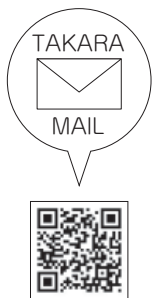
〒685-1004 宝塚市鹿塩一丁目18-6
宝塚医療生協「パズル係」あて。

メ切は3月31日です。正解者の方に抽選で図書カードを差し上げます。

図書カード送付先の住所・氏名を必ずご記入下さい。

パズル解答のご感想

メールで応募されるごとき必ず図書カード送付先のご住所、お名前を記載してください。お名前の掲載を希望されない場合匿名希望と添えてください。よろしくお願いたしました。(広報委員会)



kouhou@takarazuka-mcoop.net

「おめいじゅんぱんぱん」

前回の解答は「マツノウチ」でした。

☆正解者の中から抽選の結果、左記の方に図書カードを進呈します(敬称略)。

☆残念ながら今回の抽選にもれた方も読者の広場への投書と「もーし・もーし」とあわせて次回のご応募をよろしくお願いたします。

- 井之口 佳子 藤本 久美子
- 桑田 博之 前川 悦子
- 出口 千恵子 山下 洋子
- 仲村 晃一

のり(海苔) のりには日本周辺に約30種数見られるウシケノリ科アマノリ属を中心に沢山の種類があります。

養殖種の多くを占めるスサビノリや岩に繁殖するためイワノリとも呼ばれるマルバアマノリなど。江戸初期から干しのりとして有名な浅草のりも、この一種だが、近年アマノリは有明海や瀬戸内などの生産地での不作が問題になっている。

和歌浦湾にのり粗朶(葉をそいだ竹の枝で、のりを着生させる)が、立っていた1930年頃、のり採りに行く小舟に乗せて貰ったこと、布引(現在和歌山市)の伯父夫婦が四角い木の舟に入れたのりを漕いで小さい木枠に取り脱水し、小さい實子に移し、できた沢山の實子を大きな木枠に懸し、浜で天日干しにする作業に見入った幼時を思い出す。

「のりの栄養成分」(干しのり状、アマノリ100g当り)
のりはビタミンやミネラルなどの栄養成分が凝縮された高密度栄養食品です。ビタミン類ではDは皆無ですがそれ以外のビ

久保 久次

のり

海藻類②

すりがくのも のり 同 源 (84) 薬 食

タミンは極めて豊富。特に体内でビタミンAに変わるベータカロテンを極めて多く含むため、皮膚や目の角膜、口腔、胃腸などをとおう上皮組織の分化に働き、粘膜を健康に保つ。不足すると目は潤いをなくし、肌がかさつき消化器官も損なわれ、風邪をよく引くようになる。カロテンは活性酸素から体を守り発ガンを予防する。また悪玉コレステロールの酸化を防ぎ、動脈硬化の予防に役立つ。豊富なビタミンB12は葉酸と協力して赤血球の産生に働くほか、神経を正常に働かせ、悪性貧血を防止する働きがある。

〔生理機能成分〕豊富なヨウ素は代謝を促進する甲状腺ホルモンであるチロキシンの材料となり、発育促進、心身の健康に不可欠。豊富な脂肪酸、特にEPA(エイコサペンタエン酸)は血栓形成を抑え、血液の流動性を高め、動脈硬化、高血圧を予防し、アトピー性皮膚炎、ぜんそくなどのアレルギー症状を緩和・改善しガンを抑制する。その予防・改善作用はDHAより強いとされている。

—壁掛けアートの世界— 12



今回の作品は 「春を待つ」

さわやか支部長の岡沢正男さんが、さまざまな折り紙や紙粘土を使って作る「壁掛けアート」をご紹介します。みなさんもぜひ挑戦してみてください。

寒さの中に咲く花。凍てつく心をほっこりさせてくれます。

作業は、根気よく形を作っていきます。むずかしいのが色と艶。自然の中で、こんなにあざやかな着色が出来るものかと驚かされます。



作者プロフィール
1948年生まれ
兵庫県洲本市出身
趣味・テニス・卓球
現在良元診療所の送迎車両の運転手、用務として勤務

編集後記

★「また明日する、じゃなくて今日からしなさい」と小さい頃、母親によく叱られたことを思い出します。メッキリギリになるまでなかなか重い腰が上がりないので、今年の目標は早めの行動を心がけます。

★私が広報委員事務局長になってから1年が経ちました。思い返すと1年は本当にあっという間。これからも「たから」と一緒に自分自身も成長していきたいです。

(M)



星の荘 広瀬 則子さん



西宮市 伊田こずみさん



亀井町 塗田 淳子さん



2011年度の活動のまとめと 2012年度活動方針(案)

2011年は「どんな年」だったか

- * 東日本大震災復興支援の取組みを3者（宝塚医療生協、ヘルシーメイト、労組）で対策会議をつくり、義援金・物資・人的支援と街頭でのメモリアル行動を継続してきました。
- * 新自由主義の構造改革路線の復活の動きが強まり、「TPP参加」表明、「税と社会保障一体改革」の名による消費税増税の動きが強まっています。
- * 4月、一斉地方選挙があり、住民のいのちと暮らしを守るために取組み、自治体との懇談、連携をすすめてきました。
- * 2012年4月医療・介護報酬同時改定に向けての「たたかいと対応」と「中長期計画」の1年目としての組織づくり、事業計画づくりに着手してきました。
- * 「たから」通算200号を迎え、新年号は、初めてのカラー化、また医療生協創立40周年記念の準備をすすめてきました。

昨年は、常務理事の中野さん（5月）、元監事の田中さん（11月）、そして高松診療所の名誉所長の今井先生（12月）、1月には西宮支部前支部長杉山さんはじめ、多くの組合員が亡くなりました。（佐々木元理事、和田元婦長も）

諸先輩の功績に感謝しつつ、故人の遺志を引き継いでいきましょう。

2011年度の重点課題の到達とまとめ(案)

①東日本大震災復興支援の取組み

○民医連、医療福祉生協連に結集して、「心ひとつ」に取組みをすすめます。

宝塚・東日本大震災支援対策本部を3月15日に設置（宝塚医療生協・ヘルシーメイト・民医労宝塚支部）、対策本部会議を定例化して、①義援金②人的支援③物資支援を柱にしながら支援行動の財政活動も、物品販売等で取り組んできました。

義援金：事業所・支部で義援金箱の設置し、街頭での行動は、2012年2月まで26回200名以上が参加し、2月末現在130万円を超えています。

1) 人的支援：5月下旬 看護師2名が坂総合病院へ支

援、相談活動に事務1名が参加しました。6/10～12、18名の組合員・職員が宮城県南、山元町ボランティア支援に参加。

2) 物資支援：職員、組合員へ物資提供の願いをし、他法人の物資輸送の便や宅急便で届けました。また、被災地から宝塚に避難した人への物資支援行動、宝塚市経由で支援物資を提供しました。

3) 財政活動：支援活動、集会参加者費用の捻出を物品販売で財政活動を取り組み、2月末現在13万円を超えています。

4) 脱原発の取組み：署名活動 10,000筆目標に対して2月末現在6,607筆に到達

学習会：郷地先生（7月）・安斎先生（9月）講演参加、職員講師によるミニ学習会の開催など。

集会参加等：9・19さよなら原発集会17名参加/10・30福島集会3名参加/11・13福井原発見学ツアー10名

②中長期計画1年目、事業の質を高め、新たな事業の展開を具体化しよう

- 1) 理事会委員会の一つとして、「事業所利用委員会」を立ち上げ、「虹の箱」の活用などの具体的な活動がはじまりつつあります。
- 2) 医療福祉生協連の「医療・介護」評価に全事業所が取り組み、結果の分析をすすめ、事業の質の向上に努めてきました。
- 3) 陽だまり改修検討委員会を立ち上げ、「高松診療所を含めた総合的な検討・論議」する方向で準備をすすめています。

③「助け合い」活動をひろげ、地域のネットワークづくりをすすめて、安心してすみ続けられるまちづくりをひろげます

- 1) 生協強化月間は、9月15日の組合員活動交流集会をスタートに、10・1ゾーンを取り組みました。交流集会、10・1ゾーンとも、前年を上回る参加者、成果でした。2月末では、支部での格差がありますが、組合員増やし、出資金増やし数は、前年を上回る取り組み状況です。支部規定を改訂しました。
- 2) 高齢者にやさしいまちチェックアンケート活動を定款全地域で取り組み、600枚のアンケートを集約し、中間集約を兵庫民医連学術運動交流集会（2/26）に演題発表するなど、今後のまちづくりをすすめていく資料として活用していきます。
- 3) 自治体キャラバンは、宝塚市（11/24）、三田市（11/21）、西宮市（1/11）と懇談。消費税増税反対、TPP参加反対、介護保険改善署名など旺盛に取り組みました。
- 4) 平和行進（7/7～9）の定款地域の行進、とおし行進者歓迎会、原水禁世界大会参加と報告会の開催、「核廃絶と脱原発」の学習会、署名の取り組みを進めてきました。
- 5) 健康づくり活動は、委員会の再編でやや弱くなりましたが、健康づくり教室を開催してきました。

6) 無料低額診療事業開始して2年目、継続適用の方が多く、新規適用者は●●名でした。

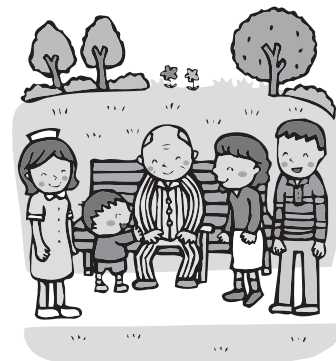
7) エコキャップの回収に引き続き取り組みました。シールはがし、洗濯のお願いとともにボランティアを募集しています。

④安定した経営基盤づくり、職員育成づくり

- 1) 医師対策委員会の取り組みの中で、2012年4月から熊野医師を招聘することができました。
- 2) 組合員・職員合同学習会4年目。「私と民医連・医療生協事例発表会」は、50人の理事、職員、OBが発表し、のべ300人が参加しました。発表者の文集を作成しました。
- 3) 職員教育委員会を設置し、新入職員教育など制度教育について論議を始めています。
- 4) 収益は、前年を大きく上回りましたが、1月までの経常利益は、168千円と前年並みの状況です。2月から高松診療所で一部院内調剤を開始しました。医療供給体制、人材の確保が困難を極め、県連への支援要請、「プロジェクト」の発足など対策を強めてきました。
- 5) 介護事業は、1月までの累計経常利益で黒字（1月末2,519千円）となり改善が進みました。介護部会での経営、管理運営、介護報酬改定対応等の論議や交流集会、学習会の開催などに取り組みました。

⑤医療生協創立40周年(2012年)の取り組み準備をすすめます

- 1) 宝塚医療生協創立40周年企画のアイデア募集を「たから」で行いました。
- 2) 「たから」縮刷版（151号～200号）を発行しました。
- 3) 「宝塚革新風土記」（増補新版）を宝塚医療生協40周年記念として復刻しました。



2012年度の重点課題・活動方針(案)

2012年はどんな年

- ◇世界金融危機以降、長期の構造的危機に陥っています。ユーロ圏の経済危機、アメリカの失業率9%台、貧困の格差の広がり、景気回復の鈍化、円高と海外経済の不安定さ、日本経済の低迷は、長引く様相です。
- ◇政治的閉塞感や政治不信の広がりとともに専制政治の台頭の危険性をはらんでいます。
- ◇TPP参加は、皆保険制度の崩壊につながり、「社会保障と税の一体改革」が具体化されれば、社会保障の根底が崩される危険をはらんでいます。
- ◇国家財政赤字の中での震災復興、脱原発とエネルギー政策のあり方が問われます。
- ◇診療・介護報酬の同時改定、「地域包括ケアシステム」と地域の介護が問われます。
- ◇宝塚市中川市政4年目の年、市と連携強化し「高齢者にやさしいまちづくり」を本格的にすすめて行く必要があります。
- ◇国際協同組合年であり、新たな「章典」論議の年となります。
- ◇宝塚医療生協創立40周年、兵庫民医連60周年の節目、「中長期計画」2年目です。

◎2012年度スローガン(案)

医療生協40年の歴史・理念を学び、地域に協同の「わ」をひろげよう

◎「5」つの挑戦

- ◇「高齢者にやさしいまちづくり」に挑戦
「孤立を防ぎ、認知症になっても住み続けられる、災害に強い」視点をもったまちづくり
- ◇年間1,000人の仲間ふやしに挑戦
中長期2年目、毎年1,000人以上の仲間ふやしできる組織
- ◇医師はじめ人材確保、後継者育成に挑戦
法人の事業活動の展望を作り出していく要（かなめ）です
- ◇「医・福・食・住」の「住」に挑戦
住まい・泊り機能の施設づくり
- ◇一万人組合員がかかわる40周年の行事・イベントに挑戦
文字通り1万人の組合員がかかわれる取り組みすすめます。

◆東日本大震災支援を 継続してすすめます

宝塚・東日本大震災支援対策会議のもと具体的な支援

の取り組みを提起します。

医療福祉生協連・民医連に結集して支援の取り組みを継続します。

◆事業活動の重点課題

- ①2012年は「国際協同組合理念」、支部と事業所で医療生協の理念と「患者の権利章典」新文書及び宝塚医療生協創立40周年の歴史を学びます。職場づくりと医療生協人づくりをすすめます。
- ②組合員の暮らしに役立つ「住まい・泊り機能」施設づくりを具体化します。
- ③虹の箱の活用、院所利用委員会活動を強化します。
- ④医療福祉生協連「医療・介護評価」に取組み、かかりやすさ、「満足度アップ」をはかり、事業の「質の向上」に努めます。
- ⑤地域の実態に根差した医療・介護及び地域連携強化を進めていきます。
- ⑥医師、看護師、介護職員の確保、育成に取り組みます。
- ⑦地域総ぐるみの健診・がん検診受診運動をさらに強化し、地域の人たち・組合員のいのちを守ります。
- ⑧社会環境に対応し、剰余を安定的に確保できる経営をめざします。

◆組合員活動の重点課題

(全国4課題目標)

- *組合員12,000人以上に到達
- *1,000人以上の実増資と2千万円以上の出資金ふやし
- *担い手増ふやし40人以上を目標に、虹のかかり650人以上に到達
- *班会開催年間800回以上

- ①1,000人を超える支部（高松、元気、西宮）の支部分割をすすめます。
- ②「孤立を防ぎ、認知症になっても住み続けられる、災害に強い」の視点を持った「高齢者にやさしいまちづ

くり」をすすめます。

- ③「転倒予防」「寝たきり防止」「筋力アップ」「運動機能向上に」に取り組みます。
- ④各支部で「助け合い活動」、たまり場作りを進めていきます。

◆社保・平和活動の重点課題

- ①「核兵器廃絶」「脱原発」の取り組みを引き続きすすめます。
- ②医療・介護・暮らしを破壊するTPP参加反対の行動をすすめます。
- ③「税と社会保障一体改革」の名による社会保障の解体、消費税増税に反対します。
- ④「無料・低額診療事業」を広く知らせて、活用をすすめます。国保44条（一部負担金の減免）を活用できるよう運動をひろげます。
- ⑤国保税の値上げ、広域化に反対し、国保をよくする運動を行います。
- ⑥医療・介護崩壊をくい止める運動、自治体との対話、懇談、平和学習をすすめます。
- ⑦「なんでも」相談会を各地で開催します。
- ⑧「温暖化防止」環境対策の具体的取組みを進めていきます。（エコキャップ、マイ箸、空調温度の設定、節電、ごみの分別収集の徹底 他）

◆宝塚医療生協40周年記念事業を成功させましょう

- ①12年度の取り組みに「宝塚医療生協創立40周年記念」の冠をつけ、例年以上の取り組みをめざします。1万人組合員が、かかわる記念行事・イベントをめざします。
- ②宝塚医療生協創立40周年記念誌を発行します。
- ③宝塚医療生協創立40周年記念式典を行います。

第44回通常総代会

日 時：2012年6月16日（土）13：30～17：00

場 所：ソリオホール（宝塚駅下車、ソリオ1・3階）

総代定数：200人以上（3月末の組合員数で、4/1公告予定）

予定議案：

- | | | | |
|-------|----------------------------|-------|-------------|
| 第1号議案 | 11年度の取組みのまとめと12年度活動方針(案)の件 | 第4号議案 | 役員報酬決定の件 |
| 第2号議案 | 11年度決算報告承認の件（11年度監査報告） | 第5号議案 | 退任役員慰労金支給の件 |
| 第3号議案 | 12年度予算（案）の件 | 第6号議案 | 議案決議効力発生の件 |